

2013年4月12日発行

さんいんキラリ春号「キラリが選んだおすすめ本」欄では

なんでもない午後に——山陰・日野川のほとりにて

中村真生子 著

米子在住の著者は3年の間毎日詩を書いて、自分のブログ「今、ここで」に発表している。千篇の詩。101篇を選んで詩集にした。なんでもない毎日なのに、心には少しずつのグラデーションがある。そんな「心」を言葉にすると、花びんに投げ入れた花のようにリンリンとする。「ここで生きると決めたのだ」「巡る季節を受け入れて」。「決心」を活けつづけるところに、才能と発見があるようです。キラリ本誌のライターも。

と紹介されています。